

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		事業コード		担当部課	部課コード	090200	2998-9230	
090208		ダイオキシン類による汚染状況の常時監視事業(大気、水質及び土壌等)		環境対策課				
開始年度		平成 9 年度	終了年度	年度	グループ	青空・化学物質		
事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画			ダイオキシン類対策特別措置法			
	関連・類似事業	大気汚染状況の常時監視事業(環境対策課)、有害大気汚染物質等モニタリング調査事業(環境対策課)						
	総合計画の体系	章 環境・自然	節 環境保全	基本方針	環境リスク対策の推進			
事業開始の背景	平成7年12月、市内土壌から高濃度のダイオキシン類が検出されたとの報道を受け、平成9年にダイオキシン類に係る大気・水質・土壌等の調査を開始した。 さらに、知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例第2条により、平成14年に県より事務の権限が移譲され、ダイオキシン類対策特別措置法第26条に基づき本事業を開始した。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	ダイオキシン類による大気・水質・土壌等の汚染状況を常時監視し、ダイオキシン類による汚染対策に係る施策の基礎資料とする。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	19	検体		
	ダイオキシン類による大気・水質・土壌等の汚染状況			平成 27 年度	19	検体		
事業の具体的な内容及び実施方法	埼玉県が定めた、ダイオキシン類大気常時監視実施計画に基づき、大気について、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき(常時監視(公共用水域)実施計画に基づき、河川水について、また、地下水質測定計画に基づき、土壌・地下水についてダイオキシン類にかかる環境調査を行う。 調査計画の作成(大気:3地点、河川水・底質:各2地点、土壌:2地点、地下水:1地点) 調査の実施(大気:4回/年、河川水・底質:1回/年、土壌:1回/年、地下水:1回/年) 測定精度の審査、測定値の確定 調査結果の国・関係機関への情報提供、公表							
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			3,121	3,043	2,418		
	決算(見込み含む)			2,180	1,966			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	( 人)	( 人)	( 人)	( 人)			
	正規職員人件費	0.48 人		4,186	0.63 人	5,456		
	事業費合計			6,366	7,422			
財源内訳	一般財源			6,366	7,422	2,418		
	国・県支出金							
	その他( )							
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	調査検体数	ダイオキシン類に係る調査検体数	検体	19	19	19	19
		調査計画検体数	ダイオキシン類に係る調査検体数	検体	19	19	19	19
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	調査実施率	有効調査検体数/調査計画検体数 × 100	%	目標値	100	100	100
					実績	100	100	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図る <input type="checkbox"/> 実績 縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	本事業の事務を行う上で、注意すべき点をパソコンの課内共有ファイルにメモとして残し課内の共有化を図ることにより、次年度以降、担当者が変わってもメモを参考にしながら事務を進めることができるようにした。							
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	本市のダイオキシン類による汚染状況の監視に不可欠な調査であるため。		
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		本市のダイオキシン類による汚染状況の監視に不可欠な調査であるため		
評価	評価	次年度予算		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	本市のダイオキシン類による汚染状況の監視に不可欠な調査であるため		
		(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性			
評価	評価	環境省が定める「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」等のマニュアルに従い実施している。			引き続き定められた測定の精度を維持し、今後も常時監視を実施する。			
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	環境対策課長 矢野 正和					
環境影響	有益な環境影響	4-6化学物質の環境リスク対策		有害な環境影響を及ぼす原因活動	自動車の使用、紙の使用	規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	無	